



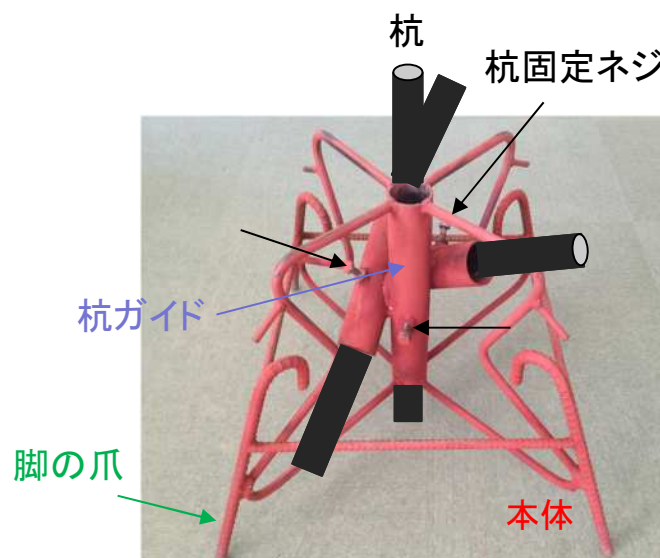
知ってとくとく からまる棒の捕獲法

1 からまる棒の設置場所

- ・からまる棒の設置場所は、草原や休耕田など、シカがよく出てくるがくくり罠の根付け（立ち木）がない場所に設置します。
- ・からまる棒の設置やシカの運搬等も考えて軽トラックが近くに駐車できる場所がよいでしょう。
- ・くくり罠にかかったシカが動く範囲（罠のワイヤー+シカの体長）に障害物（絡まりません）や道路（危険防止）が無い所に設置しましょう。

2 からまる棒の設置法

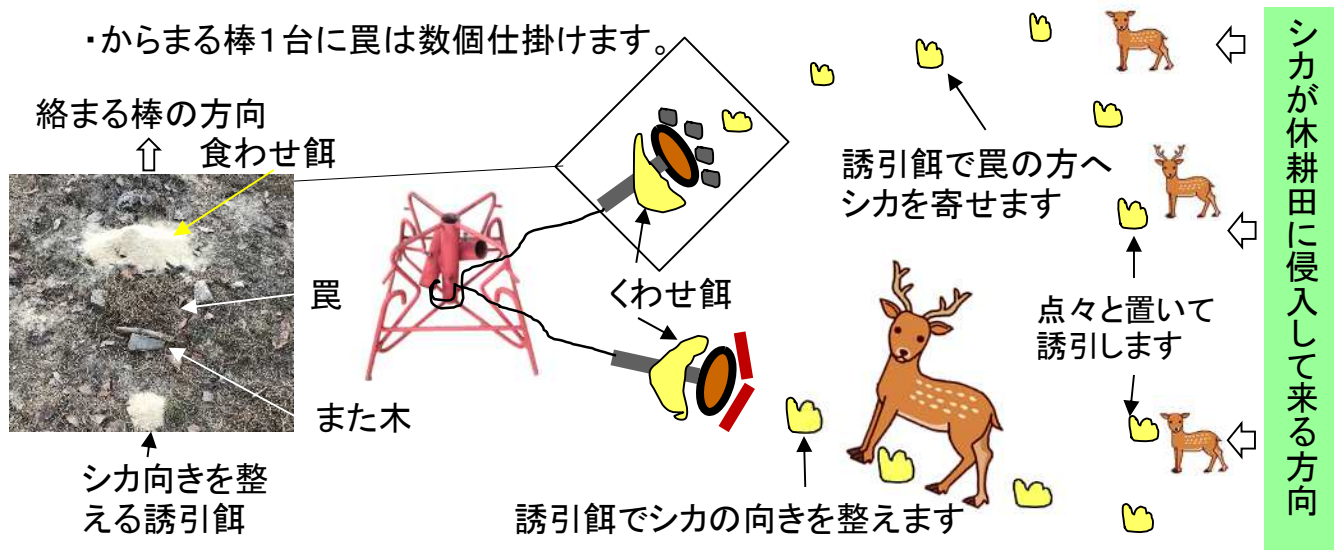
- ・設置場所が決まったら、絡まる棒本体を地面に置きます。その時、脚の爪（鉄筋）が下側に10cmほど出ておりますので、地面に突き刺します。
- ・杭固定ネジを緩めておきます（3カ所）。
- ・1本目の杭を中央のガイド（筒）を通して打ち込みます（地面に垂直）。杭は50cm以上打ち込みましょう。杭にマジックインキ等で印をつけておくとわかりやすいです。ただし、抜くために最後まで打ち込まずガイドから最低20cmくらいは残しておきます。
- ・脚の爪が4本とも地面に刺さっていることを確認して、杭固定ネジを締めます。
- ・2本目、3本目の杭は斜めに挿します。順番はありません。
- ・杭を打ち込んだらその都度杭固定ネジを締めます。【設置完了】
- ・罠のワイヤーを本体の一部（爪部はダメ）にしっかり固定します。
- ・くくり罠は押しバネ式を使用してください。



からまる棒の部分名称

2 捕獲方法（エサやり法）

- ・餌付けが必要です。必ず餌付けを行ってください。最初は広範囲に点々と撒いて沢山の個体を誘引します（一か所に集中するとシカはケンカをします）。
- ・餌付けすることで捕獲効率が格段と上がります。また、餌付けしないと休耕田等では「通い」が無いので捕まりません。
- ・からまる棒に向かってシカが来るように誘引餌をシカが休耕田に入ってくる方向から罠に向かって誘引餌を置きます。捕獲用の餌は罠の位置からからまる棒側に餌を置きます。くわせ餌と罠が近いと小さな個体が捕まり易いため、少し離すと良いでしょう。
- ・からまる棒1台に罠は数個仕掛けます。



- ・何回か捕獲し、警戒されるようになったら、設置場所を移動させましょう。

3 獲物の外し方

- ・ワイヤーを緩めるためには押しバネの付け根のネジを緩めますが、絡まって緩められない、もしくは、ネジを緩めてもワイヤーが緩まない場合があります。その時は足を切断してワイヤーを足から抜いてください。足首から切ると簡単に切れます。
- ・ワイヤーやバネが変形する場合があります。その場合は取り替えてください。

4 からまる棒の片付け方

- ・最初に杭固定ネジを3個とも緩めます。
- ・中央の杭に自在クランプを取り付けます。そして、大ハンマーの柄やバット、単管パイプなどの棒を使って杭を回転させて引き抜きます。
- ・2本目、3本目も同様に自在クランプと棒を使って、杭を回転させて引き抜きます。
- ・杭を横から叩いたり揺るようにしても抜けませんので、必ず回転させて引き抜いてください。

●お問い合わせについて

2021年3月改

○愛知県農業水産局農政部 農業振興課 野生イノシシ対策室

所在地：〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6726(ダイヤルイン) FAX：052-954-6008